

集団読書（平成30年12月18日～20日）

年 組 番 氏名 _____

1. 文章を読み、大事だと思う部分や興味をもった部分に線を引いたり、自分の考えを書き込んだりしましょう。 【7分】

【強いチームと弱いチームの違い】 我々が今よりも強くなるためには

ユースリーグが開幕した。今シーズンの目標であるユースリーグ昇格。当然ぶっちぎって全勝優勝をする。そのために、もっともつつよくならなくてはならない。以下の文章をみて、自分たちはどちらの項目に該当するか選手同士考えてもらいたい。そして、「弱いチーム」に識別される項目は、当然だが変えていかなければならない。今回も良い言葉を保護者からいただいたので、皆に紹介する。

弱いチームは返事ができない。たとえしても他につられたり、自信がなく小声になってしまう。

強いチームは自信に満ちた返事が出来る。常に気を張り心の準備が出来ていて瞬時にできる。

弱いチームは挨拶が出来ない。先生、先輩、保護者など目上の方に対して、自分から挨拶が出来ない。

強いチームは気持ちのいい挨拶が出来る。言われる前に自分から言うことが出来る。

弱いチームは心配りがない。周囲の状況判断が出来ず、言われてから動くだけ。

強いチームはあらゆる心配りがある。機転がきき、言われる前に行動に移すことが出来る。

弱いチームはグラウンドや部室、身の回りが汚い。整理整頓が出来ない。

強いチームは身の回りやグラウンドがきれいに保たれている。自分のもの以外にも努めて整頓できる。

弱いチームは「いじめ」がある。先輩が威張り後輩を どうかっ 恫喝する。そんなチームは勝てない。

※恫喝：人をおどして恐れさせること

強いチームは先輩が後輩に対して、厳しく指摘をすることが出来る。先輩は強く偉大であり、後輩に真剣に接するため自然と信頼され尊敬される。

弱いチームは「練習をやらされている」という意識でやっている。そのため、力もついていかない。

強いチームはチームや個人の目的意識がはっきりしていて「練習を自らやる」という意識でやるため力がつく。

弱いチームは言い訳をする。「相手が悪い」や「審判が悪い」などと言い訳をし、自分を正当化する。

強いチームは言い訳をいっさい言わず、自分の反省点を謙虚に受け止め、次に活かすことが出来る。

弱いチームは選手のみが偉そうな態度をとり、みんなの支えのおかげという感謝の気持ちがない。

強いチームは選手・補欠・応援の生徒にかかわらず、自分がチームのために出来ることを考え行動する。

弱いチームはリーダーが機能せず、号令部長となっている。チームが傾いたときの立て直しがきかない。

強いチームはキャプテンが司令塔になり、的確な指示を出す。常にチーム全体を見て、士気を高める。

弱いチームは生活にスキがある。サッカーのみ頑張ろうとするみせかけのため、本番にもろく崩れる。

強いチームはスキがないため最後の勝負のかかったところで全人格を賭けて戦った時に勝つことが出来る。

チームは掛け算である。一人でも、「0」がいればチームは勝つことはできない。

今、出来ていないのは、たいして問題ではない。この問題に気づき、考え、行動することに価値がある。出来ない項目が多ければ多いほど、人間として成長できる。その一人一人の成長が、チーム力となる。前回でも書いたが、人任せにせず自分自身が自覚と責任をもって取り組むことが大切。

シーズンが終わったときにどう変わっているか、どう変えようと努力するか。変えようと努力した分、変わった分、結果は自ずと出る。

出典：静岡県沼津中央高校サッカー部通信